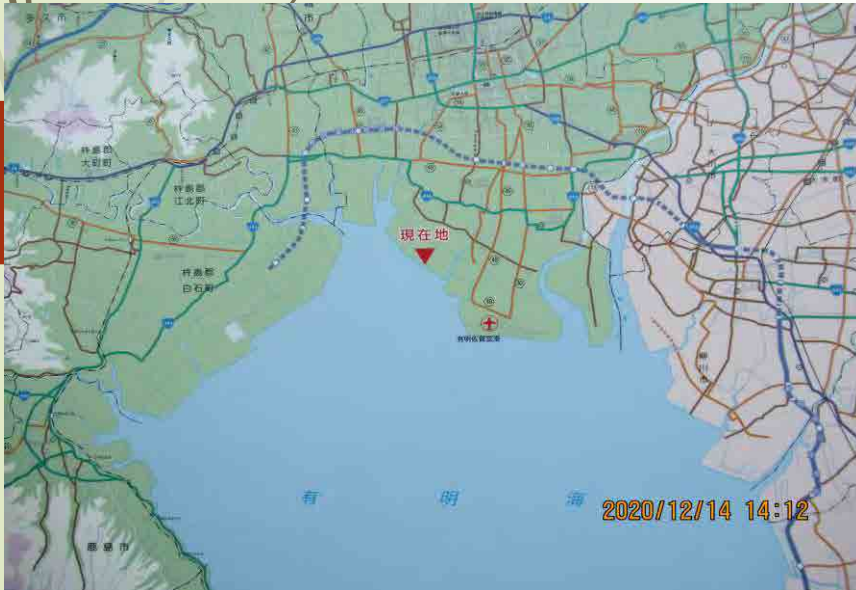


(テーマ)

「有明海の魅力を観光資源として売り出す 方策を考える」

- ・「有明海の魅力」、「観光資源」、「売り出す方策（PR）」

の3つの分野に分けて、みんなで考えてみよう



令和4年12月24日

NPO法人 有明海ぐるりんネット会員
西村 宏之

単に旅が好きなのだけに・・・

(観光戦略等はど素人なのにこのテーマを与えられてしまった?)

(これまで旅したところ)

○海外

イギリス、フランス、ドイツ、スイス、オーストリア、スペイン、イタリア、アラビア (UAE)、インド、シンガポール、タイ、マレーシア、香港、中国 (ハルビン、瀋陽、北京、上海、無錫、桂林等)、韓国、ハワイ、グアム

○国内

北は知床から南は西表島まで

- ・ 船・海 (知床、瀬峡、鳴門、神戸、石垣島、西表島、宮古島、ケラマ諸島、水納島、与論島等)
- ・ 高原 (トマム、白馬、八方池、樽池、妙高、黒部、五箇山、吉野山、大山、九重、えびの、霧島)
- ・ 温泉 (登別、阿寒、飯坂、宇奈月、白山、那智勝浦、白浜、城崎、九州各地、沖縄)
- ・ 乗り放題切符と格安宿をフル活用
- ・ 秋田県と山形県のみ行く機会がなかった。

本日のテーマの考え方 (素材→磨き上げ→情報発信)

「有明海沿岸域の魅力」を「観光資源」として「売り出す方策」を

- 1 **素材** (景観、食、温泉、祭り、特産物、特有の生物 (渡り鳥、魚、植物等))
- 2 **磨き上げ** (付加価値 (文化、交通手段、交通体系、特産物の加工品開発、モニュメント設置、フォトスポット、周遊ルート開発、拠点施設の連携、ストーリー性の追加等))
- 3 **情報発信** (SNS+スマホ、口コミ、HP、拠点施設整備、周遊ルート案内、雑誌、新聞、TV, ラジオ、パンフ等)

に分け、みんなで考えてみましょう (作業用ワークシート配布)

観光方策を段階ごとに考えてみよう

第1ステップ

大きく広げて
(不可能なことも含め)
**数多くの
IDEAを出す**

第2ステップ

実現可能性のあるものを抽出
(費用対効果は考慮せず)

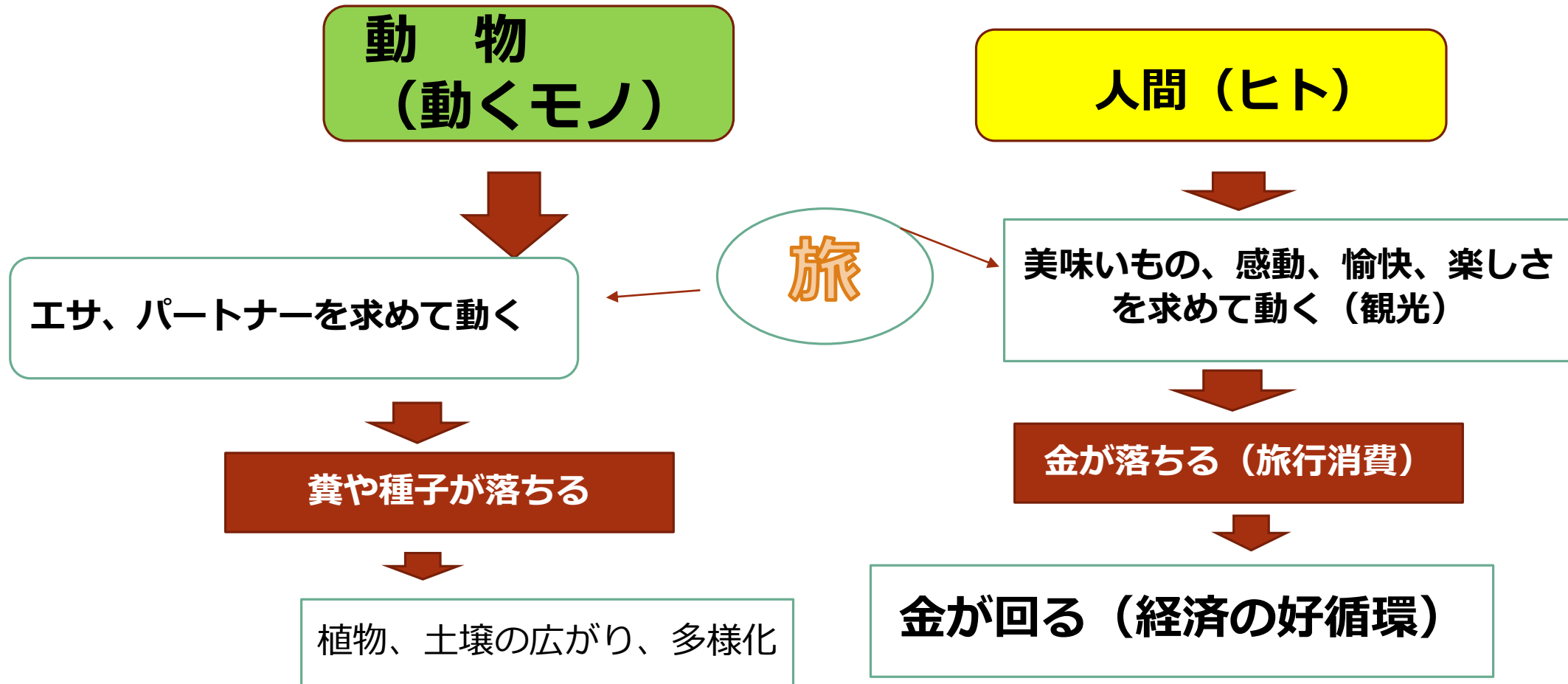
第3ステップ

実現可能性があり効果がみこまれる案

着手
(ハード、ソフト)

(手法、資金、人財、SDG s 配慮)

観光って何（旅することはヒトの本能？）



観光とは「**光**（良い所）を**観**る（心の目で観る）」こと

観光振興の目的は何？

- ➡ 観光客数か？ 訪れる人が多ければよいのか
- ➡ 落ちる金か？ 地元に落ちる金が多ければよいのか

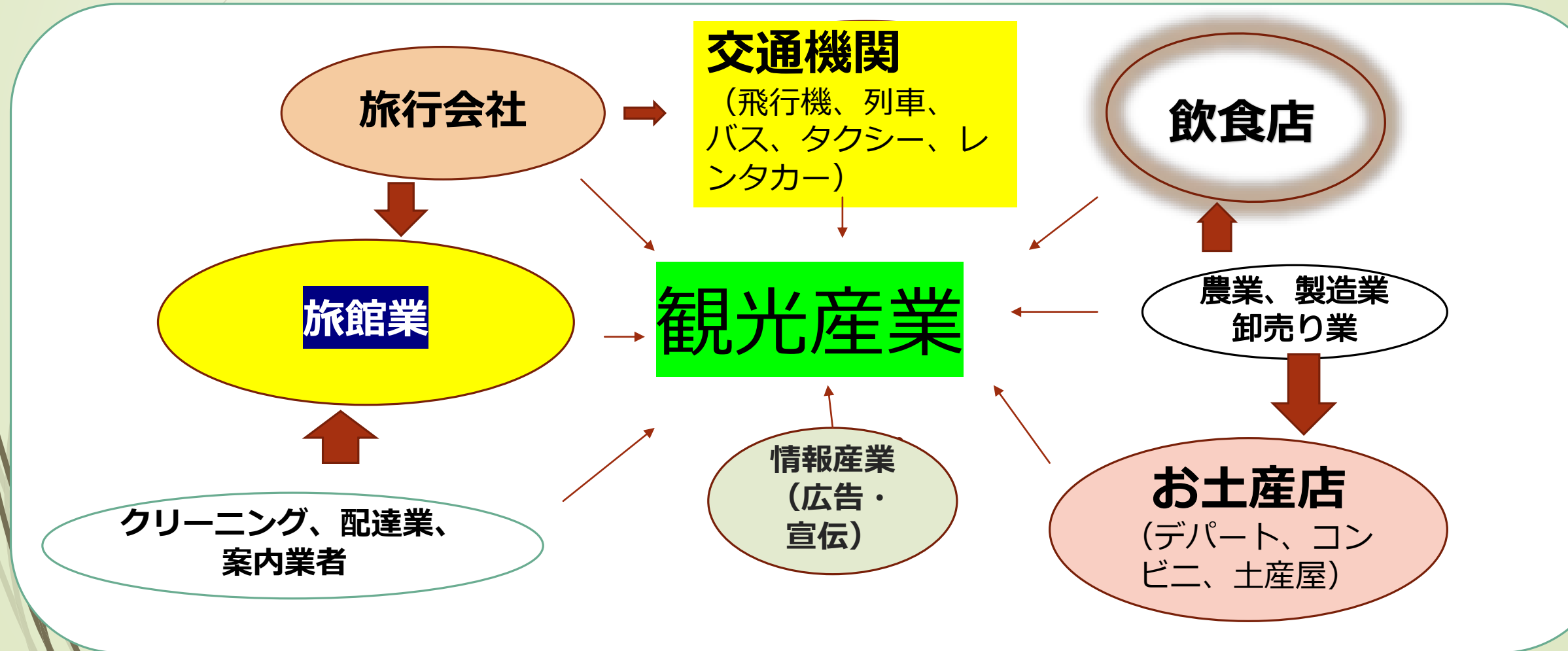
（SDG s 的思考）持続可能性 ↔ ブーム（一過性）

（コロナ禍後の観光戦略） 量（客数）から質（単価アップ）へ

- ➡ まずは、すばらしさをみんなに知ってもらいたい（情報発信）
- ➡ 来訪者の評価、好感度アップ→地元の自慢、自信、満足度、充実感につながる
- ➡ 観光地の持続可能性のために財源（維持費＋振興費）＋人手（人財）は不可欠
- ➡ 人財育成＝現在のスタッフ確保＋長期的育成（後継者維持、持続の仕組づくり）

観光産業はすそ野の広い総合産業

■ コロナ前の2019年 日本の旅行消費額27.9兆円



インバウンド消費目標 5 兆円超

(令和 4 年 1 0 月の岸田首相所信表明演説)

- ・ **コロナ前（2019年）の訪日外国人観光客（3188万人）の消費額 4兆8千億円**（一人当たり15万8千円）

（CF:日本の車の輸出額は12兆円）

- ・ **中国からの人は1兆7704億円（36.8%）で最多**

・ **中国のゼロコロナ政策は修正されたが、令和5年度以降に「爆買い中国人」が戻ってくるかどうかが目標額達成のカギでは？**

- ・ **一部でオーバーツーリズムの弊害（観光公害）**

（ゴミ問題、騒音問題、交通渋滞等）

R3年、R4年の国の観光支援

令和3年のGO TO TRAVEL

- ・佐賀支え愛宿泊キャンペーン（佐賀県）



- ・**避密の旅**（福岡県）

→ 3密（密接、密集、密閉）を避ける旅（ふれあわない旅）

- ・心呼吸の旅（長崎県）

→ R4年10月から 国が「**全国観光支援**」を実施中

（国は額を縮小して期間延長（令和5年1月10日から再開）

有明海に来て観て欲しい人のターゲットは誰か (リピーター)

- ➡ 地元住民、若者（小・中・高校生・大学生）
- ➡ 佐賀県及び隣県の人
- ➡ 佐賀空港利用者の立ち寄り

(新規開拓) . . . (PR、認知度向上がカギ)

- ➡ まだ訪れたことのない観光の好きな国内在住者
- ➡ 地理、環境、体験学習目的の修学旅行生
(吉野ヶ里歴史公園訪問からの誘導)
- ➡ 自然、環境保護、景観に関心のある外国人

リピーターの確保で**感幸地**へ

（「観光立国の正体」 藻谷啓介、山田桂一郎著 より）

（観光客）

- ➡ また来たい
- ➡ 観光客の豊かさ、幸せ実感、感動の思い出づくり実現

（地域、担い手主体）

- ➡ 住民主体の地域経営→観光、子らの環境教育、農林水産業振興→地域の全体の価値向上、住民の豊かさ実感
- ➡ 継続的な熱意と行動
- ➡ 後継者育成

「佐賀さいこう！」 + a = SAGA sa a ikou

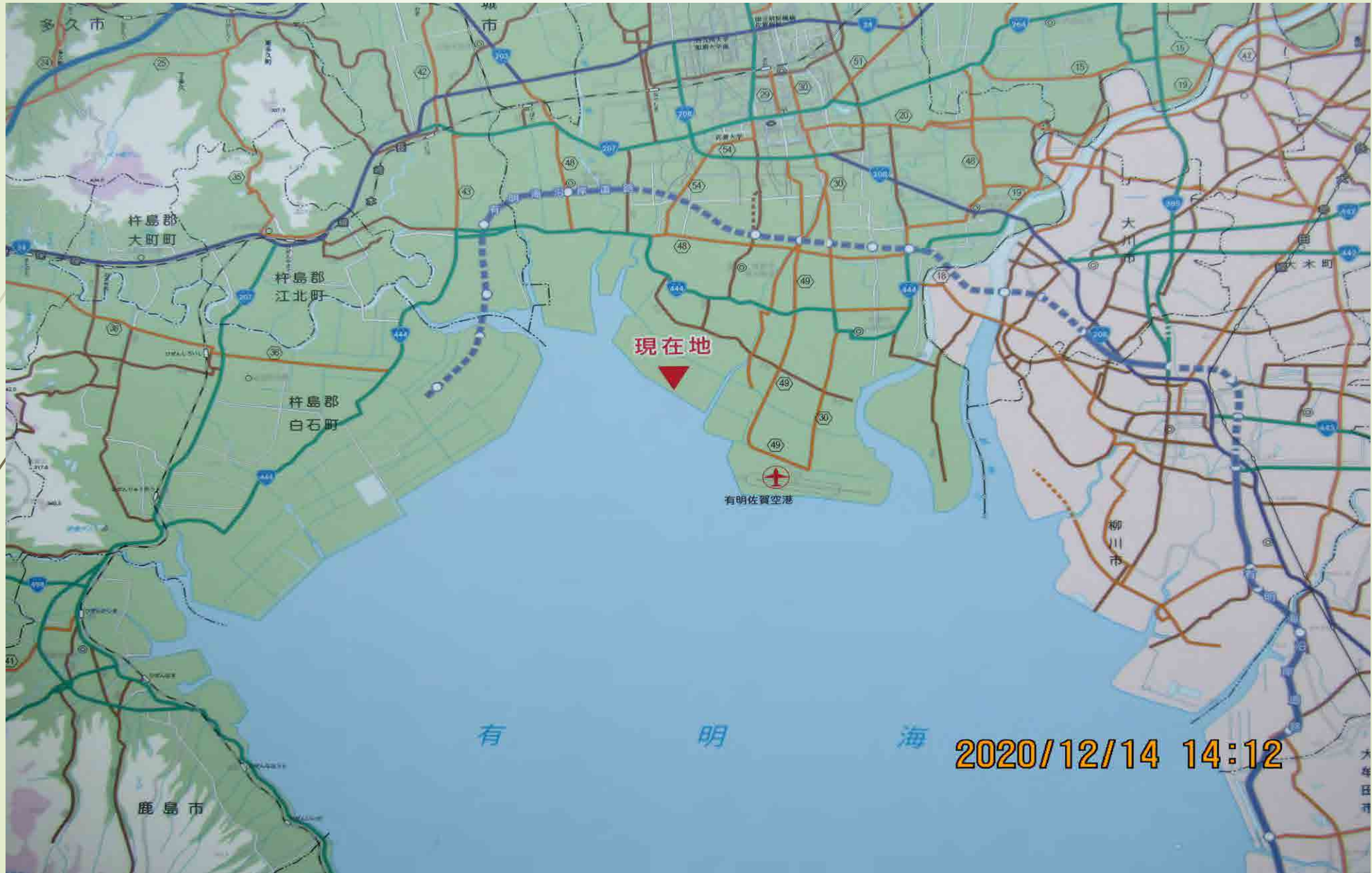
- ➡ 山口祥義佐賀県知事はどこでも「佐賀さいこう！」と叫ぶ
(思い続け、叫び続けることが大事)

(R4.11月嘉瀬川ダム10年記念事業受付にて「森川海人」の着ぐるみと並んで来賓受付していたときのこと)

山口知事は到着すると、いきなり、元部下の私に大声で「佐賀さいこう！」と叫んだ
(マスクで顔がみえず、誰かわからなかったのでは?)

- ➡ 私には「佐賀、さあ、行こう！」と聞こえた
- ➡ (SAGA saikou + a = SAGA sa a ikou)
- ➡ →どこへ? →「そうだ！有明海へ行こう」
「佐賀さいこう！」 → 「有明海最高！」

有明海沿岸域の位置図



(参考) 環有明海観光連合について

- ・ 令和4年6月4日発足
- ・ アフターコロナで有明海沿岸4県団体が県境を越え外国人を含む誘客で連携
- ・ 九州佐賀国際空港、有明海沿岸道路を活用して沿岸地域の観光振興
- ・ 竹崎城址、大魚神社鳥居、肥前浜宿、嬉野温泉、柳川川下り、島原城等をめぐるルートづくりとPR（すばらしさを伝えること）
- ・ おみやげ品等物産開発と展示イベント
- ・ 構成団体（佐賀、小城、鹿島市、太良町、大牟田、柳川、大川、みやま市の観光協会、島原観光ビューロー、荒尾市観光協会等が連携）

(参考) サガ3歩 (鹿島市、嬉野市、太良町)

(肥前路西部広域観光協議会のパンフより)

・歴史・文化を体験する旅

(志田焼の里博物館→祐徳稻荷神社→肥前浜宿酒蔵通り→海中鳥居)

・あったか湯めぐりの旅

(竹崎温泉→道の駅太良→祐徳温泉→嬉野温泉)

・ご当地グルメを満喫する旅

(嬉野で温泉湯どうふと日本酒→鹿島で鯉料理と酒→太良で竹崎力二とカキを味わう)

・新たな試み

(御船山でプロジェクションマッピング、チャオシル(お茶体験)、みんなの家(農家民宿体験)、フルーツ狩り(ミカン)、体験農園(玉ねぎ、サツマイモ収穫体験)、鹿島道の駅となりのミニ水族館、中木場ダムあじさい祭り)

交通ネットワークの活用

- ➡ **長崎新幹線開業**（令和4年9月 武雄温泉駅～嬉野温泉駅～長崎駅）
- ➡ **有明海沿岸道路延伸**
（令和4年11月三池港ICから諸富IC 2.9 Km）（嘉瀬から白石IC）
- ➡ **九州佐賀国際空港の利用**
- ➡ **新たな観光ネットワークの開発**
（新幹線武雄温泉駅又は嬉野温泉駅～鹿島～多良の日帰り観光等）
日本人ばかりでなく爆買い中国人、韓国人、台湾人、タイ人を誘導
（福岡空港→大宰府神社、柳川川下り→佐賀県有明海沿岸域へ誘導）

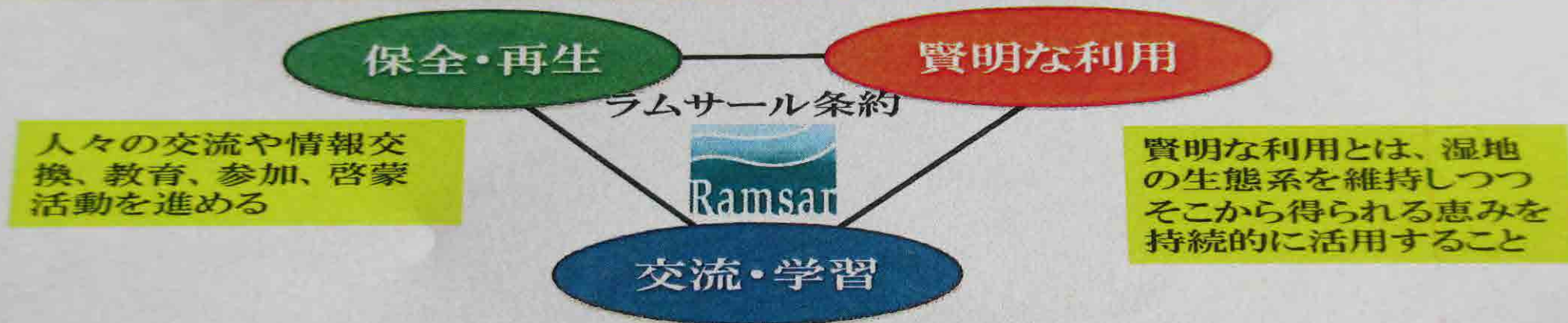
ラムサール条約の3つの理念を大切に

荒尾干潟・東よか干潟・肥前鹿島干潟が ラムサール湿地登録

荒尾干潟:2012年 東よか干潟・肥前鹿島干潟:2015年

ラムサール条約

「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」



「湿地とは、沼沢地、湿原、泥炭地 又は水域をいい、低潮時における水深が6メートルを越えない海域を含む。」

湿原、湖沼、河川、遊水池、湧水地、カルスト台地の地下水系、塩性湿地、マングローブ林、干潟、藻場、サンゴ礁、水田、ため池、水路、ダム湖

2020/10/26 08:25

SDGsについて

(Sustainable Development Goals)

- ➡ 国連が定めた2030年までに世界が取り組むべき17のゴール、169のターゲットで構成
- ➡ 11番目・・・住み続けられるまちづくりを
- ➡ 14番目・・・海の豊かさを守ろう
- ➡ 15番目・・・陸の豊かさを守ろう
- ➡ 17番目・・・パートナーシップで目標を達成しよう



- ➡ 自然環境の復元
- ➡ (七面草の復活、ムツゴロウ、シオマネキが間近でウジャウジャ見える)
- ➡ ひがしよか干潟 (渡り鳥の中継基地、景観、観光) の将来像

東よか干潟の特徴

- ➡ **観光資源、地域振興としての東よか干潟のポテンシャルは何か**
(景観、夕日、渡り鳥、むつごろう、しおまねき、七面草、ひがさす)
- ➡ **「ひがさす」での各種の継続的なイベント**
- ➡ **佐賀空港、有明海沿岸道路、駅からのアクセス、他の近隣施設との連携、貸し自転車、レンタカーでのアクセス良好**
- ➡ **持続可能な観光**
(sustainable development goals) の方策 (SDGs)
- ➡ **維持管理のための公的補助 + 優れた企画実現のための財源確保を**
(市からの委託費はもちろん来客者からの徴収、寄付、クラウドファンディングも) (イベント、清掃・環境維持費、情報発信、誘客に利用)

東よか干潟のSDG s の前提条件

- ➡ 渡り鳥の中継基地であり続けること→ラムサール登録湿地の使命
- ➡ シギ、チドリ類の飛来数 日本一 100種類以上の野鳥
- ➡ 干潟の干満差 日本一
- ➡ 渡り鳥を養う餌の豊富さ（ゴカイ等）と生態系の豊かさ
- ➡ 高潮から陸地を守る堤防があること→防災の観点
- ➡ 毎年秋の七面草（群生）の広がりとし色が維持されること
- ➡ →景観，環境保護の観点
- ➡ 絶滅危惧種の生き物が生き残ること→生態系の豊かさ維持

持続可能な観光地となるために

- ➡ 守るべきもの（干潟環境の維持、渡り鳥の休憩地、生物、植物の生息地）
- ➡ 来客者の目的は？満足させるものは？リピーターになってもらうには？
東よか干潟に関心をもってもらい、末永く快く金を落としてもらうには？
- ➡ （大宰府天満宮、祐徳稲荷の例）
数百年以上、集客を続けている（持続可能な観光）、金も落ちている（維持のための財源確保と店舗等雇用創出）
cf. 東与賀干潟 七面草の色づく 1 1 月初旬に集中（儲けなしでいいの？）
- ➡ 地域の人々のやりがいと誇り、活性化に繋がるための他の観光地との連携
- ➡ SNS + スマホでの情報発信力（継続と最新情報の更新が大事）
- ➡ 人 ➡ 観光ボランティアガイド、まちづくり協議会、七面草を守る会、シギの恩返し米プロジェクト進協議会、子どもラムサール会など

有明海のラムサール登録干潟 3 か所の拠点施設



ラムサール条約登録湿地荒尾干潟ビジターセンター



荒尾干潟ビジターセンターの展示物



荒尾干潟ビジターセンターの展示物



荒尾干潟の展示物（インスタ映えのフォト）



荒尾干潟展示物（インスタ映えするフォト）

（東よか干潟にも撮影用モニュメントが欲しい）



東よか干潟全景

「Way Partnership(EAAFP)」之下所設置的「東亞及澳大利亞地區飛渡型水鳥重要生息地網路」。

2017年(平成29年)11月，以促進亞洲地區濕地之賢明利用為目標之「亞洲濕地研討會(AWS2017)」，預定在佐賀市召開，由此可見東よか干潟之地位和重要性正在逐步提升中。

「Way Partnership(EAAFP)」之下所設置的「東亞及澳大利亞地區飛渡型水鳥重要生息地網路」。

2017年(平成29年)11月，以促進亞洲地區濕地之賢明利用為目標之「亞洲濕地研討會(AWS2017)」，計劃在佐賀市召開，由此可見東よか干潟在國際上的地位和重要性正在日漸提高中。



2020/12/14 14:07

of wild birds to Higashiyoka-higata / 하가시요카 갯벌로 날이오는 야생 조류들 / 飞到东与贺滩涂的野鸟们

most number of the visit of sandpipers and plovers in Japan
[일본의 도요새와 풀떼새류의 도래지]
和千鳥类来说这里是日本青那一带的停留地

キ・チドリ類は、夏季にシベリアやアラスカで繁殖し、
は越冬のためにオーストラリアやニュージーランド
下します。東よか干潟は、旅鳥たちの休息やエネ
ー補給の場として重要な中継地となっており、冬鳥
て越冬する鳥も多くいます。

秋の渡りの季節になると、数千羽のシギやチドリを
見つけば、姿を見ることが出来ます。



春から夏の間に繁殖のために日本へ来て、冬は暖かい南の国で越冬する鳥のこと。

冬鳥 ふゆとり 北の国で繁殖し、秋に日本へやって来て日本でも冬を過ごす鳥のこと。

繁殖地や越冬地に向かう長旅の途中、休



Visit of endangered species / 도래하는 멸종위기종 / 遠道而來的瀕臨絕滅的物種

東よか干潟には、環境省作成のレッドリストに掲載されている、絶滅を危惧されている希少な野鳥も飛来しています。



東よか干潟に飛来する野鳥はおよそ100種!!

[illegible]

2022/05/14 09:20

東よか干潟「ひがさす」に日が射す



ひがさすの来場 記念写真撮影場



東よか干潟でシオマネキを捕まえ喜ぶ子供



鹿島市干潟交流館



2020/12/13 15:37

鹿島市干潟交流館の展示物



(近隣の観光地) 世界遺産 三重津海軍所跡

みえつ 三重津海軍所跡

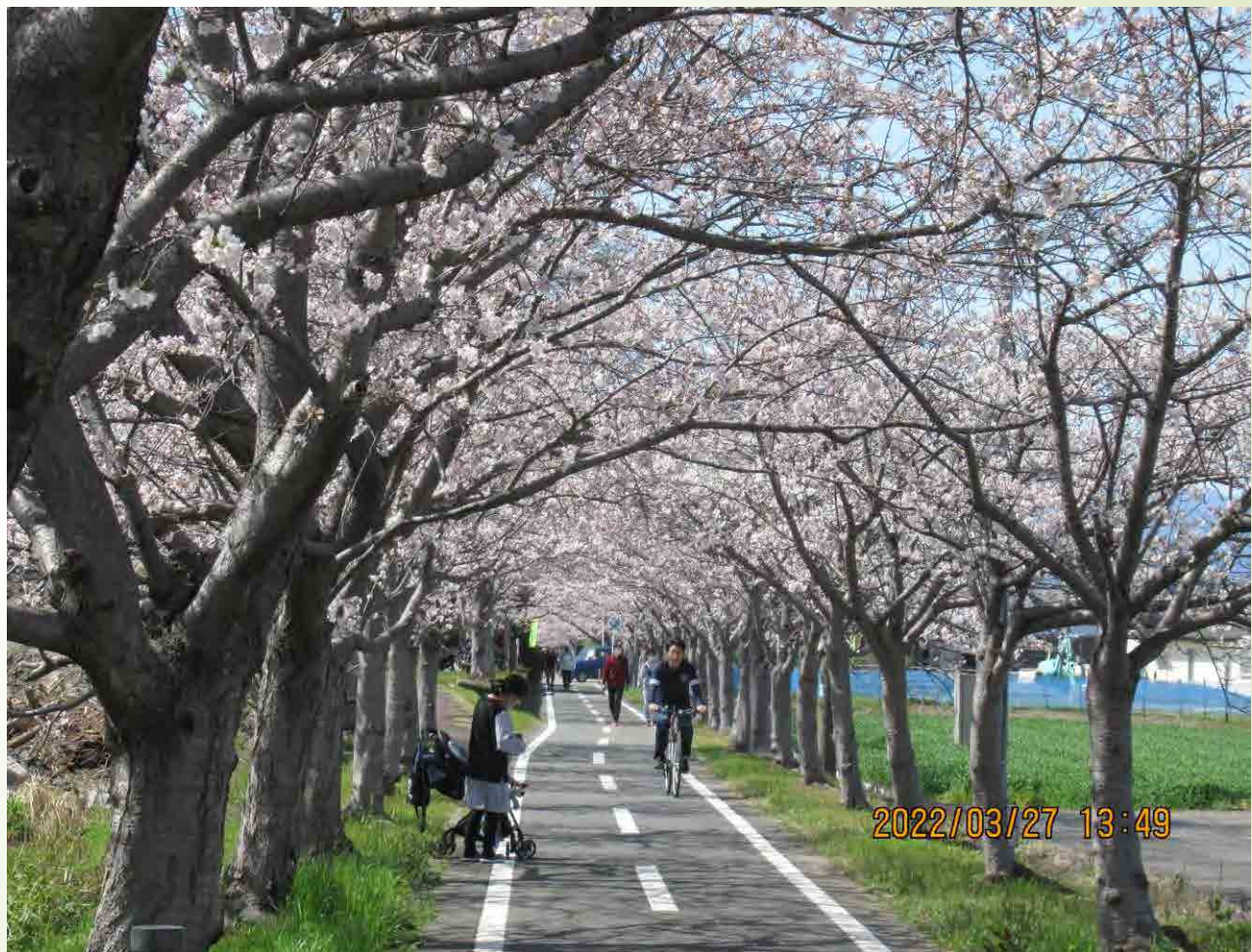
Mietsu Naval Dock
[National Historic Site Mietsu Naval Facility Site]



2021/10/26 15:12



徐福サイクリングロード（諸富～佐賀）と 筑後川昇開橋



多布施川河畔公園の桜



大中島の山口家住宅と旧海岸堤防跡

国指定重要文化財（昭和49年2月5日指定）

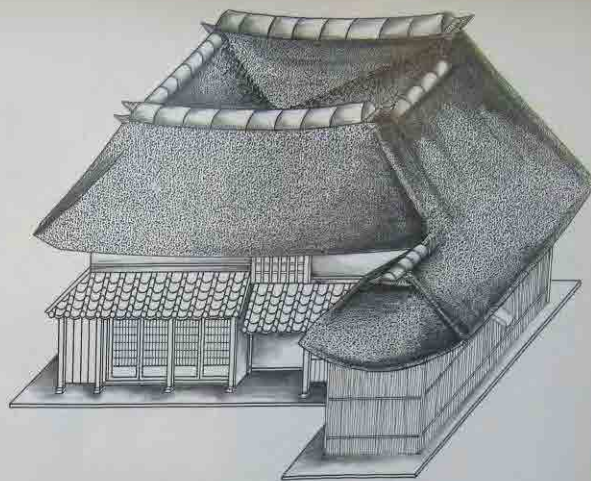
山口家住宅

じょうごだに
漏斗谷造りの農家



内部「にわなか」「あがりくち」付近 北西側より撮影

「にわなか」から、ゆか上部を見る。
6畳敷の「あがりくち」の半間張り出した部分の上に漏斗の口がある。



漏斗の屋根。外側からは密造りの屋根に見える。漏斗状であるのは中に入って見なければ分からない。口の字型の大梁には大きな瓦を乗せ、棟瓦は西側だけがやや低い。

じょうごだに ◆漏斗谷造り

主屋の屋根状が「コ」字型になり、中央に集まる雨水は瓦製の樋（**テュー**）によって土間の上を流れ、外に導きだされるのが特徴で、筑後川河口近くの干拓地を中心に多く見られる。このほか、佐賀平野にはコ字型の屋根をした「くど造り」の家も多い。屋根葺きは、この地方のクレークに自生する「よし」で葺かれている。よし葺きは丈夫で30～40年はもつと言われている。

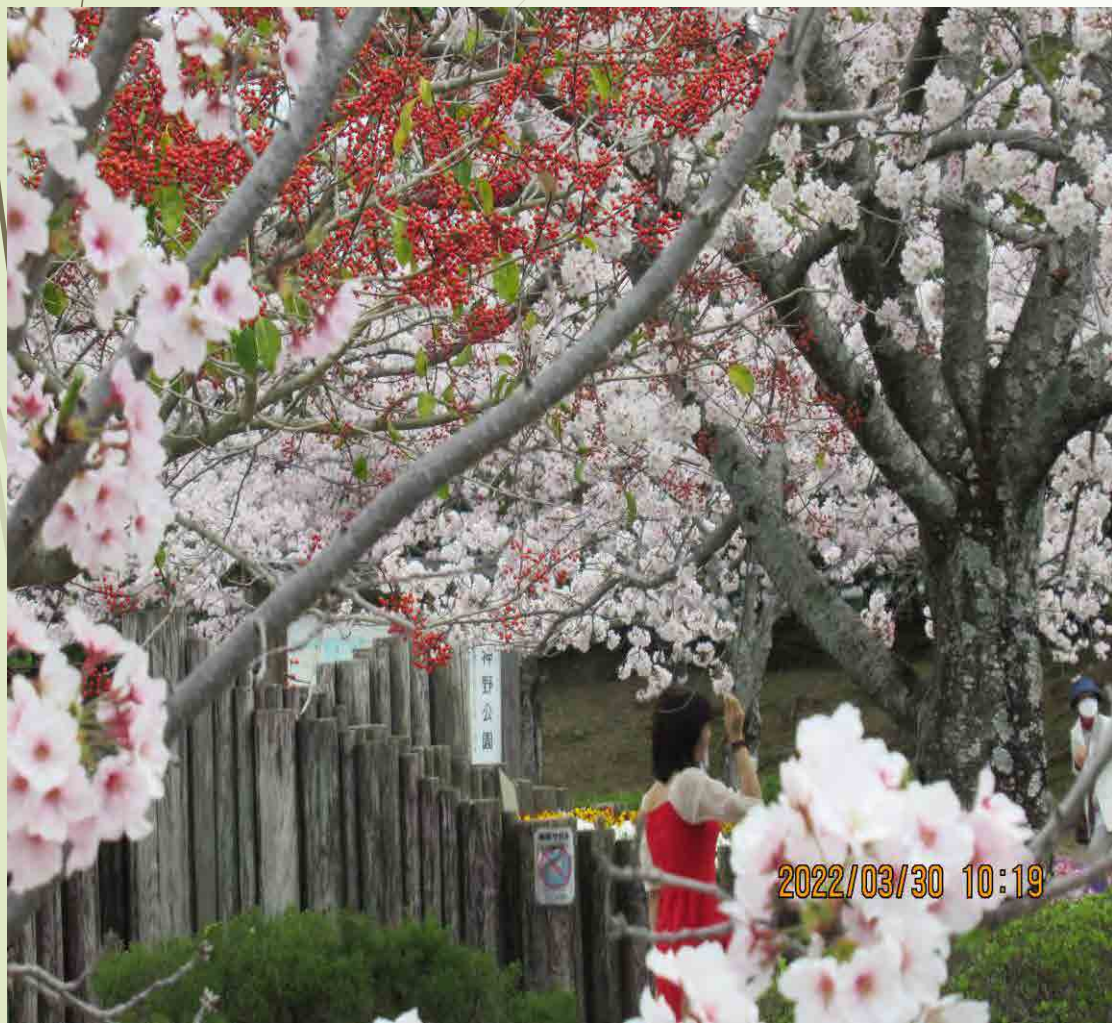
なぜ、この地方にこのような複雑な構造の屋根が造られたかについては①文政年間の藩令で、身分により「梁」の長さが限定されたから②この地方は潮風が強く、高潮に襲われることが多いのでそれに耐えるため③熊本県に多く見られる「よし」の産地であるから④いくつかの説があるが定かではない。

2022/01/04 10:26



2022/01/04 11:05

神野公園と佐賀空港コスモス祭り



観光振興のためのハード整備とソフト整備

➡ (ハード面)

- ・ **道、交通、駐車場、干潟の乗り物開発**（静かにゆっくり進み、誰でも楽しめる乗り物）、乗り捨てレンタサイクル（佐賀空港～公園）、電動キックボード
- ・ **漂着ゴミ対策、外国人対策**（多言語標記の案内版）

➡ (ソフト面)

- ・ **ボランティア、担い手、後継者の育成確保**（まちづくり協議会、七面草を守る会、野鳥の会、子どもたちの教育指導者の永続的確保）

・ **不断の情報発信と維持管理費の捻出**

イベント、食、祭り創出（経費）、案内者育成、来訪者からの感謝感激協力金（寄進）、クラウドファンディングづくり、コロナ対策とコロナ後の戦略づくり

- ・ 外国人対策（多言語標記のガイドブック、**スマホの音声翻訳機能の活用**、HPへの配慮）
- ・ **3拠点施設（荒尾、東よか、肥前鹿島干潟）や芦刈のムツゴロウ保護区、三重津海軍所跡、大型イベント（バルーンフェスタ、ガタリンピック、コスモス祭り）との連携**

進んでボランティアしたくなる仕掛けづくり

（東よか干潟「ひがさす」の例）

- ➡ ひがさすに来た子供たちに、ゴミ袋を渡し、ゴミ拾いをしてきた子には景品の入ったガチャ玉を引かせる
- ➡ 有明海クリーンアップ事業の抽選会（景品は竹崎力二等）

（富山県土木事務所の例）

「雪と汗のひとかき運動（歩道除雪等にご協力ください）」

（冬の五箇山合掌造り前の「相倉」バス停に雪かきスコップの掛かったボックスと雪かき推奨を呼びかける標語を掲げ、バスを待つ観光客が自ら面白がって歩道の雪を除去することを狙う）

（大分県自然保護推進課の例）

「九重山避難所隣りのトイレ清掃の水運びボランティア」

（牧ノ戸峠で九重登山者に500ml水入りペットボトルを渡し、九重山頂途中にある避難所で係員にボトルを渡してもらう。渡した人には大分県自然保護課長名の感謝状を渡す

（A4で1枚のコピーに感謝の文章と課長名の入ったもので単価約10円）

海岸ゴミ拾いのご褒美（ひがさすのガチャ玉）



何で稼ぐか（人的資源と活動維持財源）

- ➡ どのようにして地域の魅力と持続性を保っていくかが重要
- ➡ ・ 志を同じくする者たちの人的つながりの維持
- ➡ （東与賀町まちづくり協議会、シチメンソウを育てる会、環境NPO団体等）
- ➡ ・ 常に活動維持財源を意識しておく
- ➡ （どのようにして活動財源を生み出すか）
- ➡ （行政頼りのみではいつか危うい場面に出くわすという危機感）
- ➡ → いざとなったら（地域資源を元手に）自ら稼ぐぞという気概

サステイナブル観光の手本は神社経営にあり？

(例) 祐徳稲荷、太宰府天満宮

- ➡ 数百年以上にわたり連綿と営業が続いている老舗（つぶれていないという事実）
- ➡ 一年中、社内イベントと賑わいが続く（数百年続く大祭、縁日、初詣、祈願祭、曲水の宴等）
- ➡ 「御利益あり」の名声（多くの信者、信者でない人からも信心獲得）
（商売繁盛、学問、恋愛、優勝祈願、合格祈願→信じる者は救われる？気分になる）
- ➡ リピーター、ファン多数→門前の店と食べ物屋も多数（民間業者が受け持ち）
- ➡ 効果・御利益は正直、皆様わからない（しかし、願いがかなわなくてもクレームなし）
来訪者は喜んで金を出す（投げ銭、お札参り、寄進、お祓い、お守りグッズ等）
- ➡ 正月、受験期等、短い特定時期に一気に稼ぐ（あとは寝て暮らしてもサステイナブル）
（九年庵・・・5月新緑（3日間）と11月紅葉(9日間）の短期間開催のみで集客）
（博多どんたく港祭り 5月3、4日の2日間のみ開催で200万人集客）
- ➡ 奉仕団、維持団体の存在は大（清掃奉仕、神社特有の清潔環境・すがすがしさの維持）

神社におけるイベント（祭り）の利用

祐徳稲荷（鹿島市）

「大宰府を着物で歩こう」キャンペーンに参加？

旅好き「老婆の休日」より抜粋



（妄想 1） 黄金色の干潟に光を

- ➡ 夕日に照らされる東よか干潟は黄金色に揺らめく
- ➡ 干潟上のプロジェクションマッピング
- ➡ 天空の映画館または潟上映館
- ➡ 海岸堤防の活用（幅 2 m×数キロ）
- ➡ ・ 堤防壁面に長編漫画を描き、終わりまで読み進めると2キロ歩く
 - ・ 太陽光発電フィルム貼り付け（農業ハウス、水路、堤防、干潟、休耕田）
- ➡ ・ サイクリングロード整備（大中島一周（40 km）、佐賀空港一周など）
- ➡ （かっこいいMTB、ロードバイク、電動補助自転車、アベック、子連れ用レンタルバイク、キックボードなどの配備）



黄金色に煌めく東よか干潟 夕・日が射す（ひがさす）からの展望に感動

- 時期：12月初めから冬至ころ
- 時間：16時30分～17時までの展望台からの南西方向の干潟
- 特徴：黄金色に輝き、ゆらめく干潟
(太陽光の泥面で反射)

東よか干潟の沈む夕日



2020/12/05 17:02

（妄想2）春は桜を観る会、秋は海の紅葉 夜のイベント（闇の文化）も

➡ （春）

- ➡ 夜桜見物（桜を愛でる会前夜祭）、邦楽演奏会、渡り鳥をてなづける
- ➡ 屋台村（キッチンカー集合）、新型の楽市楽座「みんなで軽トラ市」（磐田市）
- ➡ 柳川の川下りとさげもん祭り（3月）

➡ （秋）

- ➡ バルーンの後には夜の七面草ライトアップ（七面草を愛でる会）
- ➡ 干潟を巨大スクリーンに映画鑑賞会（ドローン、サーチライト）
- ➡ 屋台村、酒蔵祭り、野鳥料理大会、菊人形、米粉パンと酒作り、七面草染め布
- ➡ 紅葉の森をつくろう（緑基金やクラウドファンディングでの参加呼びかけ）
- ➡ 子どもたちの夜のお散歩会、お化け大会、夜のハロウィーン（仮装大会）

柳川の川下りとさげもん祭り（3月）



佐賀城お堀の冬と春

エサに集まる鴨と青サギ



佐賀城南側のお堀の桜並木



(妄想3) 七面草が活かせないか

- ➡ 美しさ→環境維持協力金徴収→景観の維持、環境教育の場
- ➡ イベントの有料化（1人300円の有料駐車場代徴収）
- ➡ 鑑賞用、生け花用 →市場で売る
- ➡ 工芸品に加工（ドライフラワー）→インテリア等利用法も示してネット販売
- ➡ 薬効ないか？→成分研究→実を煎じる→漢方薬製造、販売
- ➡ 色を活かせないか？→染料（スカーフ、帽子）
- ➡ 茎を活かせないか？→織物（衣服、バッグ、畳）
- ➡ 人工栽培の研究、普及→繁殖域の拡大
- ➡ 都会の畑に観賞用七面草→干潟創出造園業、潟土とセット販売
- ➡ 枯れたら刈り取りイベント
（稲わら、籾殻混ぜて）→乾燥→たき火→焼き芋大会

東よか干潟に広がるシチメンソウの群生



2022/10/22 13:05

(妄想4) シチメンソウ祭りを活かそう

- ➡ 「シチメンソウを育てる会」の収入源として
- ➡ 有償ボランティア育成のために
- ➡ 会存続、後継者育成のため
 - シチメンソウ祭りを11月1日から10日間連続で実施
- ➡ 祭り期間中は1台500円の環境協力金（駐車場代金）をとる（保全活動資金源）
- ➡ 景観500円以上の価値ありと思う人は大多数と思うが
- ➡ 新型の楽市楽座（みんなで軽トラ市(磐田市)、キッチンカー、キャンプセット）

(妄想5) 干潟を活かせないか

- ➡ 干潟景観→映画撮影、アニメ、物語の創造→SNSで拡散・炎上
- ➡ 夜の巨大プロジェクションマッピング場
- ➡ 潟土原料に東よか焼物（花瓶、壺）→製法と泥をネット販売
- ➡ 軟弱地盤干潟上でのモデル住宅展示場→建築会社の技術を競う場
- ➡ 干潟の乗り物競技大会→電動潟チャリ、干潟モトクロス、潟飛行機
- ➡ 惑星探索車、新たな水陸両用車の開発（潟の上でも静かに走行可）
- ➡ 干潟の上の空中散歩→スライダーと潟ドボン遊具（巨大振り子型）
- ➡ 100年かけ東よかモンサンミシエル建築（留置場、修道院）
- ➡ 自衛隊が訓練に干潟を活用できないか

芦刈町のむつごろうシオマネキ保護区 (東京からの客が干潟体験)



2022/06/26 13:39

(参考) 仏のモンサンミシエル (干潟上の城)
(オムレツと生ガキのレモン掛け+ワインが名物)



(妄想5) 生き物(渡り鳥, シオマネキ) で稼ぐ

- ➡ 生態観察、景観→案内人が解説の有料案内
- ➡ 渡り鳥への投げ銭制度
(絶滅危惧種の中から選択、幸運を招く鳥として神格化)
- ➡ 長旅用お守り、御朱印帳
(渡り鳥のように無事に長旅ができる幸運を授ける)
- ➡ 渡り鳥観察オンライン旅 (サイトの有料広告)
- ➡ 絶滅危惧種の渡り鳥の繁殖実験 (ヘラツラクロサギの人工ふ化)
- ➡ **ワラスボとシオマネキ料理の開発** (焼く、煮る、蒸す、炒める、漬す、練る、混ぜ合わせる、ラーメンはすでに商品有り) 七面草ソースを添えてプロバンス風料理レシピの開発)
- ➡ **増えすぎた野鳥(鴨)は食えないか?**
(新たな狩猟法の開発と規制緩和策、鴨肉のテリーヌ、野鳥の焼き鳥)
- ➡ **大型の青サギを手なずける** (鷹匠ならぬ「サギ匠」、「有明コウノトリ」と呼ばせる)

有明海の生きものたち



有明海干潟の渡り鳥



むつごろう VS シオマネキ

(芦刈町のムツゴロウ・シオマネキ保護区栈橋にて)



（妄想6）人流・土産・飲食・宿泊で稼ごう

- ➡ ・ラムサール条約登録シール
（太良町は朱色の**大魚神社鳥居スタンプ**をミカン、牡蛎包みに貼り付け）
- ➡ ・シギの恩返し米を原料に渡り鳥の形のせんべい「**食べっこ渡り鳥**」
（ギンビスの「食べっこ動物」のパクリ）
- ➡ ・**潟プリン**（土台の黄色は揺れる軟弱地盤、上のキャラメルは干潟の黒）
- ➡ ・**わらすぼひれ酒**（飲めるか？）
- ➡ ・誰でも干潟をゆっくり進める乗り物（有料）
- ➡ ・**有明海域（干潟）観光にふさわしい衣装、ファッションはあるか？**
（「大宰府を着物で歩こう」キャンペーン、「柳川さげもん祭」での着物姿、
潟土で染めた浴衣等）
- ➡ ・**農家民泊と称し、宿泊料をとり、客に喜んで農作業（玉ねぎ収穫等）させて
ダブルで儲ける**

お土産品開発

白石町道の駅
(農産物加工品)



肥前浜駅
HAMA BAR
(きき酒セット)



(仮) 潟プリン
(有明海沿岸域の
形を模してスプーン
ですくう)



ミカン、カニ、コハダ、
クラゲのおいしい加工
品開発ができないか



(まとめ)

- ➡ 有明海のすばらしい誇れる景観と自然を守り続けること(財源+人財(人手))
- ➡ 生き物観察は奥が深い(異種生物のせめぎあい、捕食、領地争い、求愛活動)
- ➡ 「森・川・海・人」の連携を念頭に生態系、渡り鳥のための干潟を守ることが観光地としての東よか干潟のSDGsにつながる(森川海人プロジェクト)
- ➡ ラムサール条約にいう「賢い利用」(wise use)をみんなで考える
- ➡ (情報発信で全国から公募、SNS+スマホの利用、HPの充実、こどもたちへの環境教育)
- ➡ 佐賀空港、長崎新幹線利用の人々への回遊案内(cf.成田空港と牛首観音)
- ➡ 他の2つの有明海ラムサール登録湿地拠点施設(荒尾干潟と肥前鹿島干潟)との連携(相互の紹介(リンク)、交流、それぞれの特徴を活かす知恵の出し合い)



新たな有明海観光戦略を

（余興 1）有明海の観光特急列車「ふたつ星」の旅

▶ 観光特急列車「ふたつ星 4047」乗車

▶ （武雄温泉駅→江北駅→肥前浜駅（きき酒）→多良駅（幸福の鐘鳴らし）→小長井→長崎駅）

▶ 10:22発 10:46 11:23 11:41 12:06 13:15着

▶ 帰りは長崎新幹線「かもめ」で武雄温泉駅まで、リレーかもめで佐賀駅へ

長崎駅 14:41発

武雄温泉駅15:13着 15:16発 佐賀駅15:36着



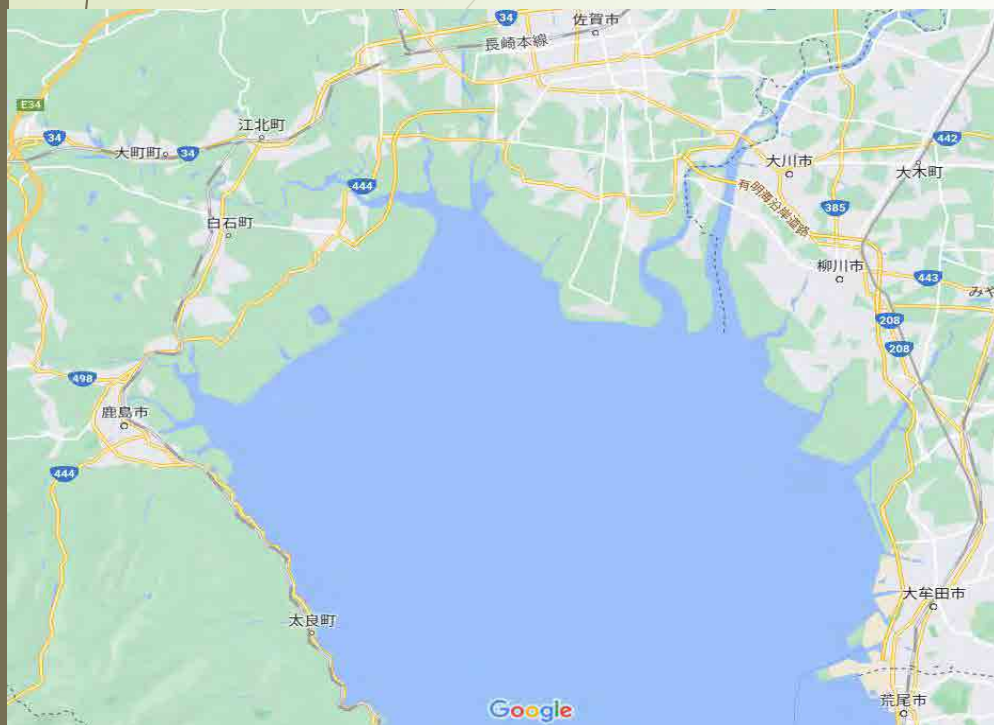
▶ 佐賀駅発着のセット料金は8600円

▶ （行き：在来線特急→ふたつ星 帰り：新幹線かもめ、リレーかもめ）

▶ 3両編成のうち、2両目は観光列車的な豪華ラウンジ席（利用自由）

（余興 2）もしも有明海が東京湾だったら？

有明海沿岸域



東京湾沿岸域



大牟田→千葉（石油コンビナート、製鉄、港）、柳川・大川→幕張（墨田川下り、見本市）
諸富・大宅間・佐賀空港→浦安（ディズニーランド） 東よか公園→葛西臨海公園（水族館、観覧車）
佐賀県庁→霞が関（官庁街） 白石町→品川（新幹線停車） 肥前鹿島干潟→羽田（国際空港）
太良町、竹崎→横浜（港、物流基地、ランドマーク、中華街）

(余興 3) 詩歌にみる旅へのあこがれ

- ・ **遠くへ行きたい** (知らない街を訪ねてみたい)
- ・ **汽車** (走れー走れートンネルだ、鉄橋だ、楽しいなあ)
- ・ **岬めぐり** (あなたがいつか教えてくれた岬を僕は訪ねてきた)
(窓に広がる青い海よ→悲しみ深く胸に沈めたらこの旅終えて国に帰ろう)
- ・ **いい日旅立ち** (国鉄のキャンペーンソング)
(雪解け間近の北の空に向かい→ああ、日本のどこかに私を待ってる人がいる)
- ・ **知床旅情** (知床の岬にハマナスの咲くころ)
(「ハマナス」の花ことばは「旅の楽しさ」)
- ・ **襟裳岬** (vs 塙の「佐賀県の歌」) (「なーんもなか対決」は襟裳岬の勝ち)
(襟裳の春は何もない春です→よーし、確かめに行こう→何もなかった→妙に納得)
- ・ **三都物語** (神戸、京都、大阪)
- シメは松尾芭蕉の「**奥の細道**」

松尾芭蕉の「奥の細道」冒頭部分

月日は百代の過客にして、行きか
ふ年も又旅人也。舟の上に生涯を
うかべ、馬の口とらえて老をむか
ふる者は、日々旅を栖（すみか）
とす。古人も多く旅に死せるあり。
予もいずれの年よりか、片雲の風
にさそはれて、漂白の思ひやまず、
海浜にさすらへ、去年（こぞ）の
秋江上の破屋に蜘蛛の古巣をはらひ
て、やや年も暮、春立る霞の空に
白川の関こえんと、そぞろ神の物
につきて心をくるはせ、道祖神の
まねきにあひて、取るもの手につ
かず。もも引の破をつづり、笠の
緒付かえて、三里に灸するより、
松島の月先心にかかりて、住る方
は人に譲り

杉風（さんふう）が別墅（べつ
しょ）に移るに、

草の戸も住替る代ぞひなの家
面八句を庵の柱に懸置。

私と有明海の仕事での関わり（自己紹介に代えて）

- ➡ 1978年（S53） 入庁 佐賀県商工振興課→初めて船からの有明海潮干狩り（大漁）
- ➡ 1982年（S57） 佐賀県企画室水資源班（40年前）→有明漁連田中会長へのヒヤリング
国の南総開発から諫早湾干拓への変更（防災的干拓へ計画変更。締め切り面積1/3に縮小）
- ➡ 1997年（H9） 企画調整課→有明海干潟の利活用計画（干潟サンクチュアリーの形成）
- ➡ 1999年（H11～H13）財政課→有明海水産振興のための予算編成
（覆砂、海底耕耘、有明海研究支援等）
- ➡ 2002年（H14～H15）漁政課→有明海特措法に基づく佐賀県計画の策定
- ➡ 2004年（H16）有明海再生課→NPO設立準備支援（有明海再生機構と有明海ぐるりんネット）
- ➡ 2005年（H17）廃棄物対策課→海岸漂着ごみ問題（玄海、有明海）
- ➡ その後、新産業課、県立産業技術学院、経営支援本部、出納局勤務を経てH28年3月退職